

様式8の修正について

平成30年度の交付申請に用いる様式の内、様式8を修正しましたのでお知らせいたします。
 これまで、省エネルギー対策における躯体の断熱性について、部位ごとに特定/その他性能向上工
 事を選択する必要がありましたが、同じ部位で特定性能向上工事とその他性能向上工事の両方を
 計上できるようになります。
 特に必要のない場合、これまでと同じ様式を用いていただいで支障ありません。

様式8(省エネルギー対策の別表3部分)の記入例

(別表3) リフォームした箇所については、 リフォーム後の性能を記入してください。 <small>・既存の状態の評価基準に適合する場合は既存の性能を記入してください ・性能評価に既存の断熱材を含む場合は、その旨がわかるように記入してください</small>		住宅性能等 記入欄 (建築士による確認)			補助対象工事費 (自動計算)		工事完了時建築士チェック欄		
		評価基準への適合状況		補助対象となる性能向上リフォーム工事	補助工事単価	84,000	36,000	特定性能向上工事	その他性能向上工事
		リフォーム前の性能	リフォーム後の性能	リフォーム工事の種類	工事内容	数量	単位		
躯体の断熱性能	屋根・天井1	断熱材の種類、仕様(密度等) (住宅用GW16kg) 断熱材の厚さ (200) mm 熱貫流率※1 () W/m ² ·k 熱抵抗値※1 (4.4) m ² ·K/W 熱伝導率※2 () W/(m·K)	<input type="checkbox"/> 適 <input checked="" type="checkbox"/> 否	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	断熱材 天井吹き込み <input type="checkbox"/> 高性能断熱材を用いる場合※2 <input type="checkbox"/> 工事なし	7,200 8,400	円/m ²	0 0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	屋根・天井2	断熱材の種類、仕様(密度等) 断熱材の厚さ () mm 熱貫流率※1 () W/m ² ·k 熱抵抗値※1 () m ² ·K/W 熱伝導率※2 () W/(m·K)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	断熱材 天井吹き込み <input type="checkbox"/> 高性能断熱材を用いる場合※2	70.00 2,400	円/m ²	84,000 0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	屋根・天井3	断熱材の種類、仕様(密度等) (住宅用GW16kg) 断熱材の厚さ (100) mm 熱貫流率※1 () W/m ² ·k 熱抵抗値※1 (2.2) m ² ·K/W 熱伝導率※2 () W/(m·K)	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 適 <input checked="" type="checkbox"/> 否	断熱材 天井吹き込み <input type="checkbox"/> 高性能断熱材を用いる場合※2 <input type="checkbox"/> 工事なし	7,200 8,400	円/m ²	0 0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	屋根・天井4	断熱材の種類、仕様(密度等) 断熱材の厚さ () mm 熱貫流率※1 () W/m ² ·k 熱抵抗値※1 () m ² ·K/W 熱伝導率※2 () W/(m·K)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	断熱材 天井吹き込み <input type="checkbox"/> 高性能断熱材を用いる場合※2	30.00 2,400	円/m ²	36,000 0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	壁1	断熱材の種類、仕様(密度等) 断熱材の厚さ () mm 熱貫流率※1 () W/m ² ·k 熱抵抗値※1 () m ² ·K/W 熱伝導率※2 () W/(m·K)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

評価基準上、断熱材は熱抵抗値Rcが4.0 m²K/W以上必要(木造、6地域の場合)
 ⇒屋根・天井1は評価基準を満たすが、屋根・天井3は満たさない。

例えば、改修タイプBに適合するリフォームを行った上に、天井の断熱化を図るが、部分的に評価基準に適合しない、あるいは室単位で施工できない場合、以下の通り補助対象工事費を計上することが可能になりました。
 ・室単位で評価基準に適合する工事(70m²)は、特定性能向上工事として計上(赤囲い部分)、
 ・評価基準に適合しない、あるいは室単位で施工できない工事(30m²)は、その他性能向上工事として計上(青囲い部分)